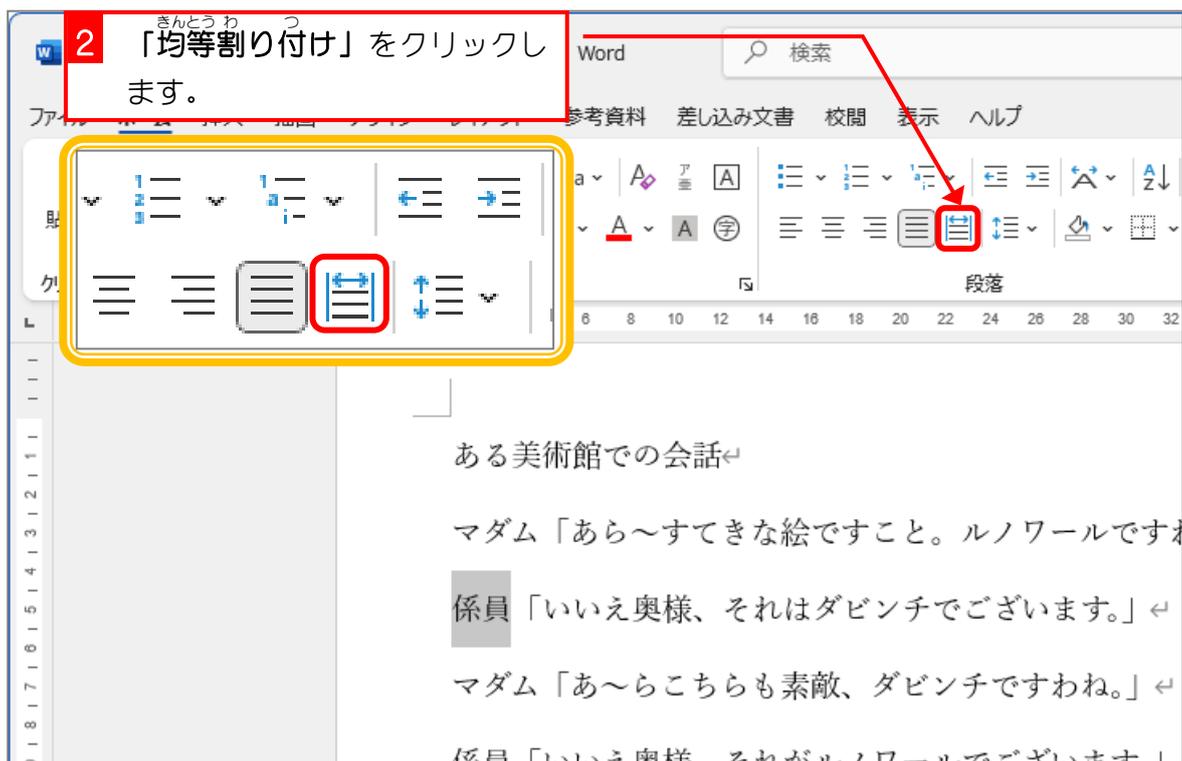
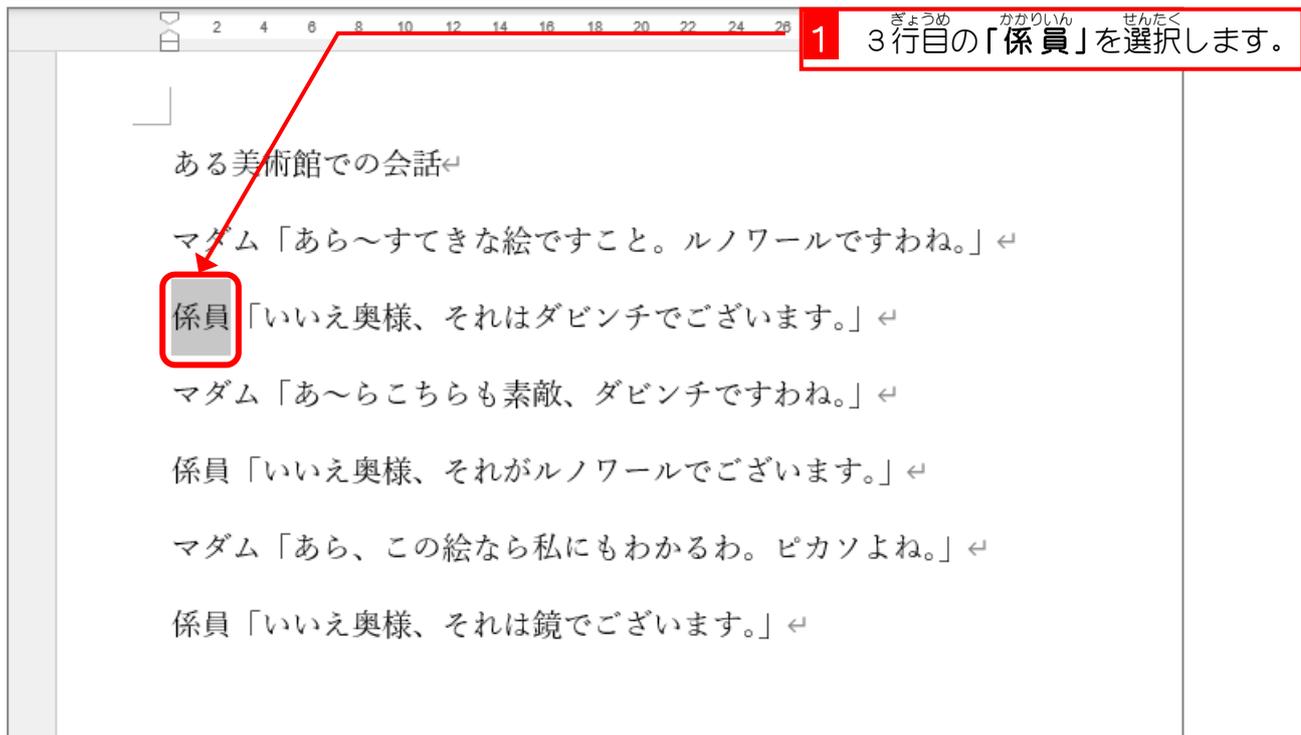
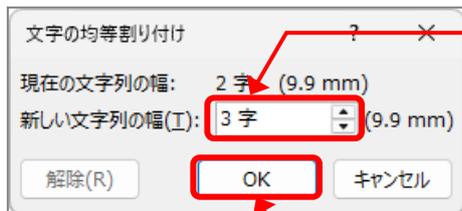


## STEP 5. 文字の間隔を調整する（均等割り付け）

「マダム」の文字数が3文字で「係員」が2文字なので「係員」を3文字分の幅に広げると全体がそろって見やすくなります。「係員」を3文字の幅に広げてみましょう。

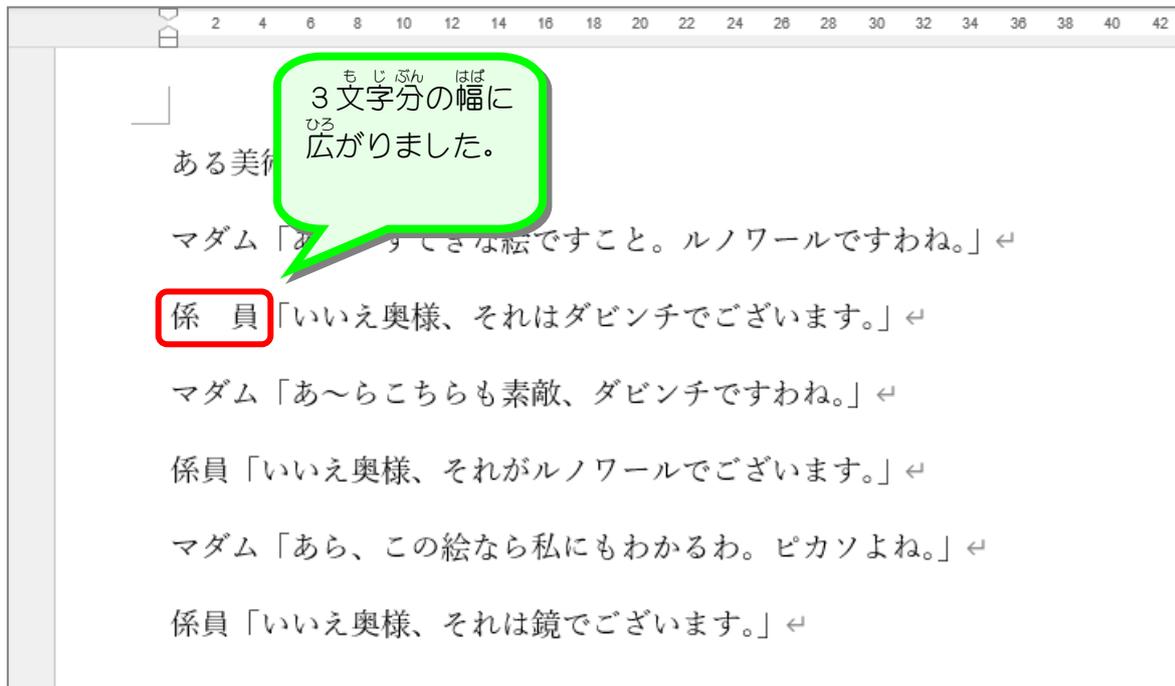
### 1. 文字の間隔を均等割り付けで調整しましょう





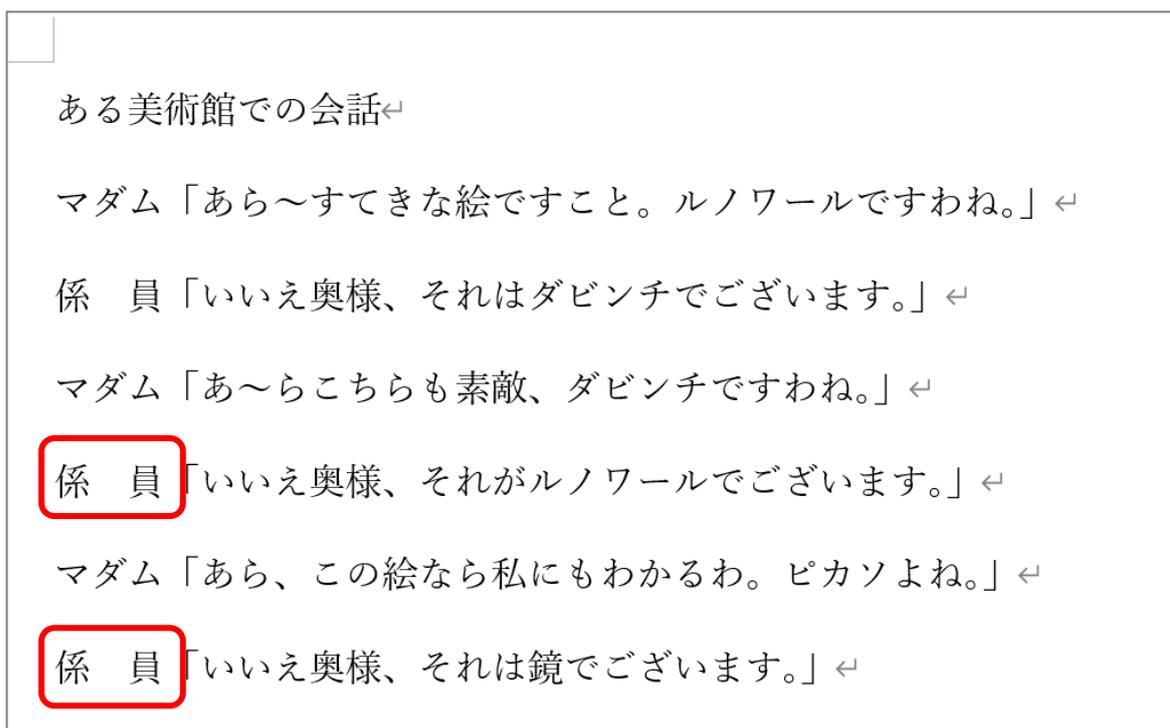
3 「新しい文字列の幅」を「3字」に変更します。

4 「OK」をクリックします。



## 練習問題

- 次のように「係員」の文字を3文字の幅で「均等割り付け」をしましょう。



## STEP 6. 先頭に記号を付ける (箇条書き)

箇条書きで文書を書くときに先頭に記号を付けるとわかりやすくなります。「マダム」と「係員」の会話を箇条書きにしてみよう。

### 1. 先頭に記号を付けましょう

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピ

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

1 2行目・3行目の会話の部分を選択します。

2行目・3行目をすべて選択する必要はありません。その行の一部だけでも選択されていればいいです。

2 「箇条書き」をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

せんとう きごう つい  
先頭に記号が追  
か  
加されました。

あ

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係 員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構い  
ません。

## 練習問題

- つぎ のように残りの「マダム」と「係員」の会話を簡条書きにしましょう。

ある美術館での会話←

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それは鏡でござい

テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構い  
ません。

## STEP 7. 先頭の記号を消す (箇条書き)

箇条書きで先頭に付けた記号を消してみましょう。

### 1. 先頭の記号を消しましょう

ある美術館での会話

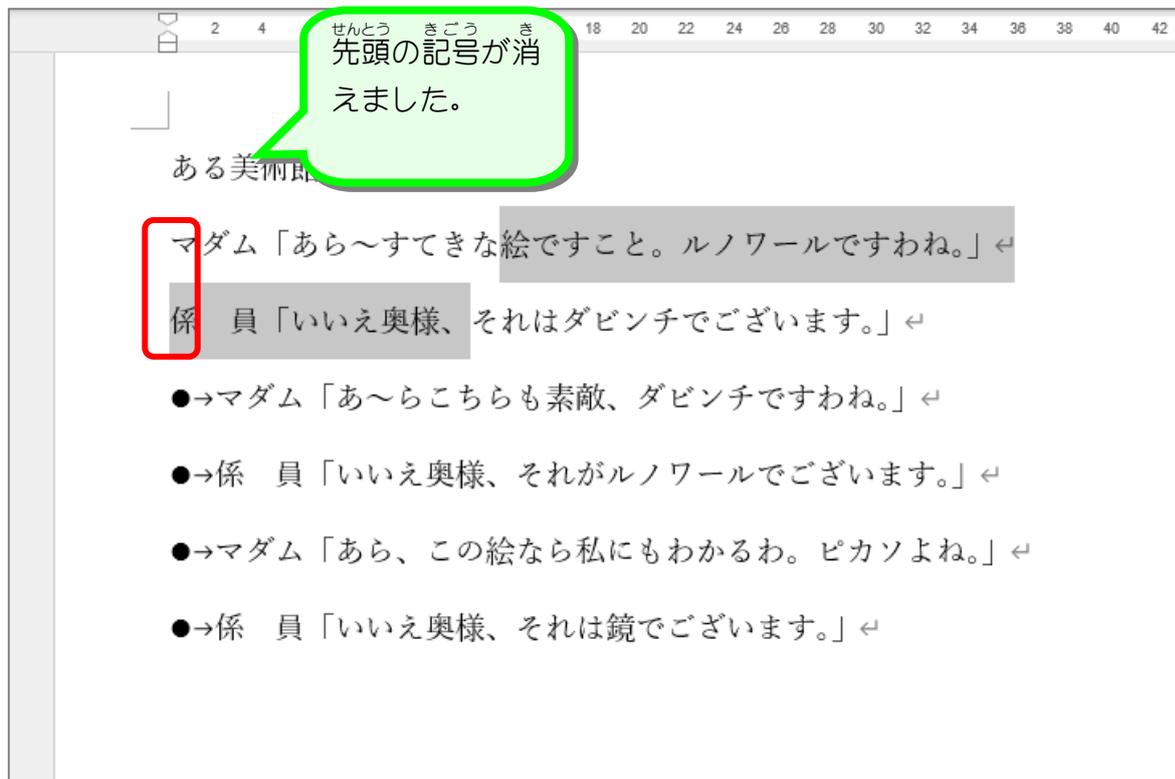
- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」
- 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

1 2行目・3行目の会話の部分を選択します。

2 「箇条書き」をクリックします。

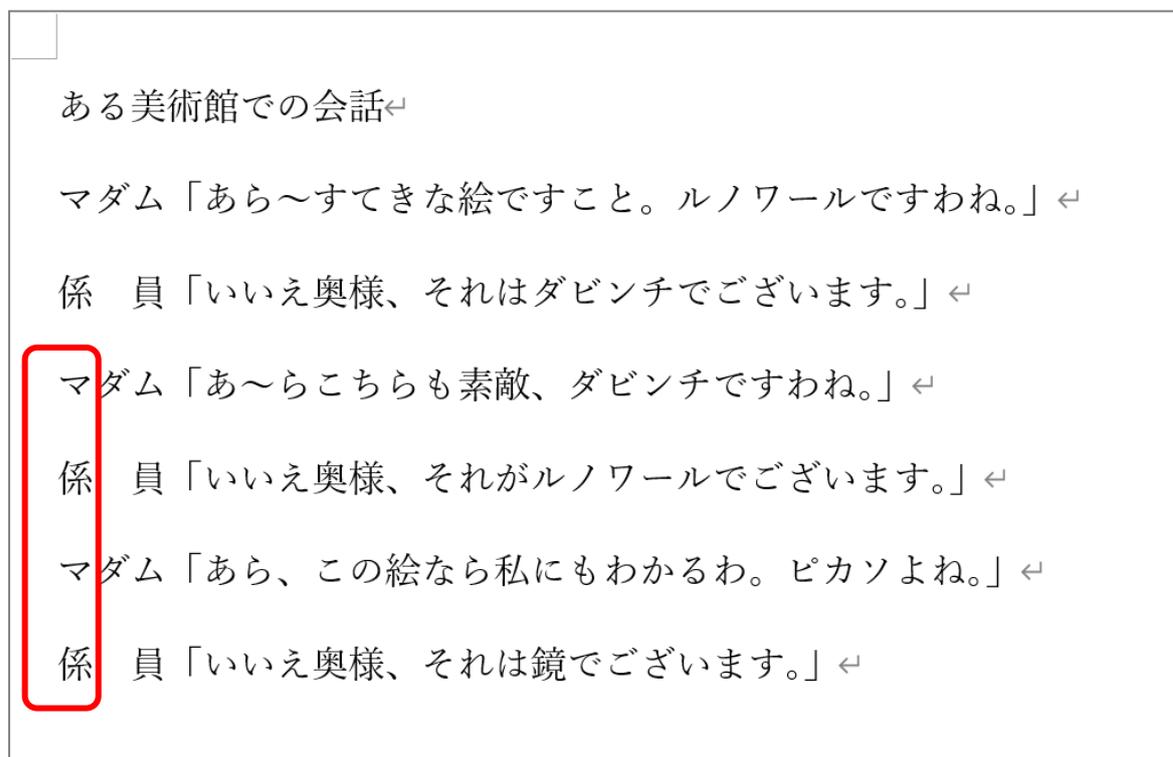
ある美術館での会話

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールで
- 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます



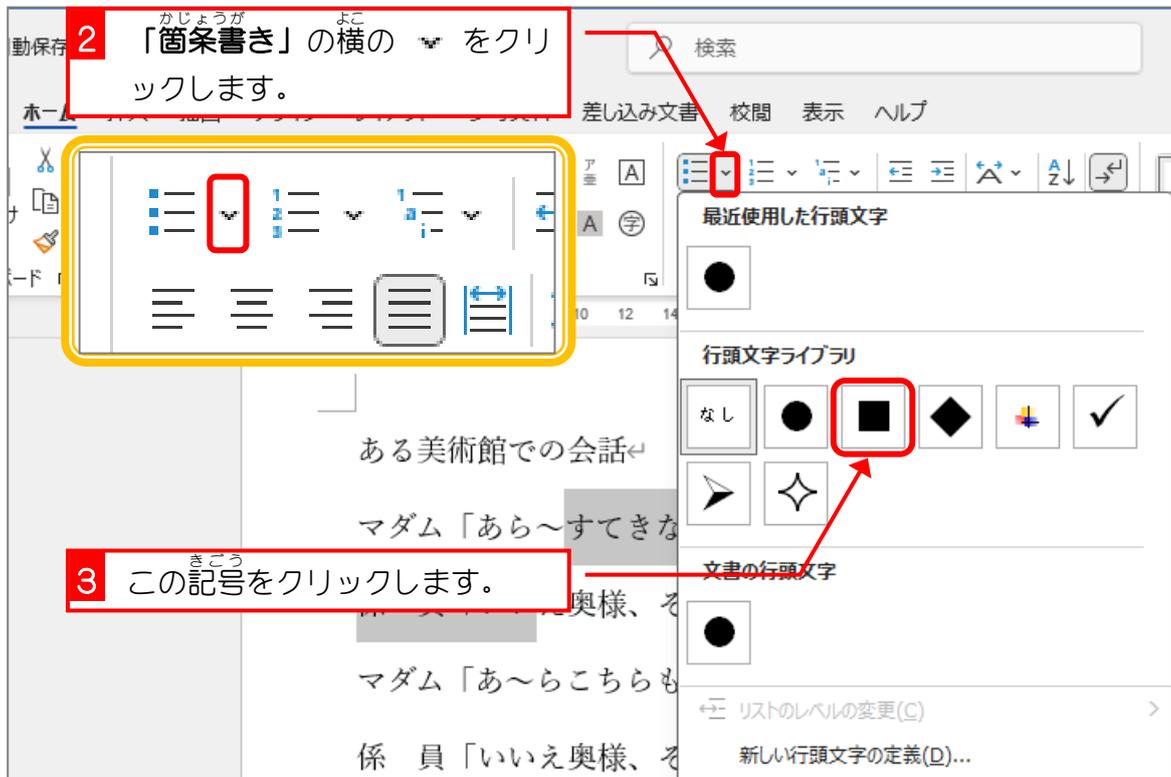
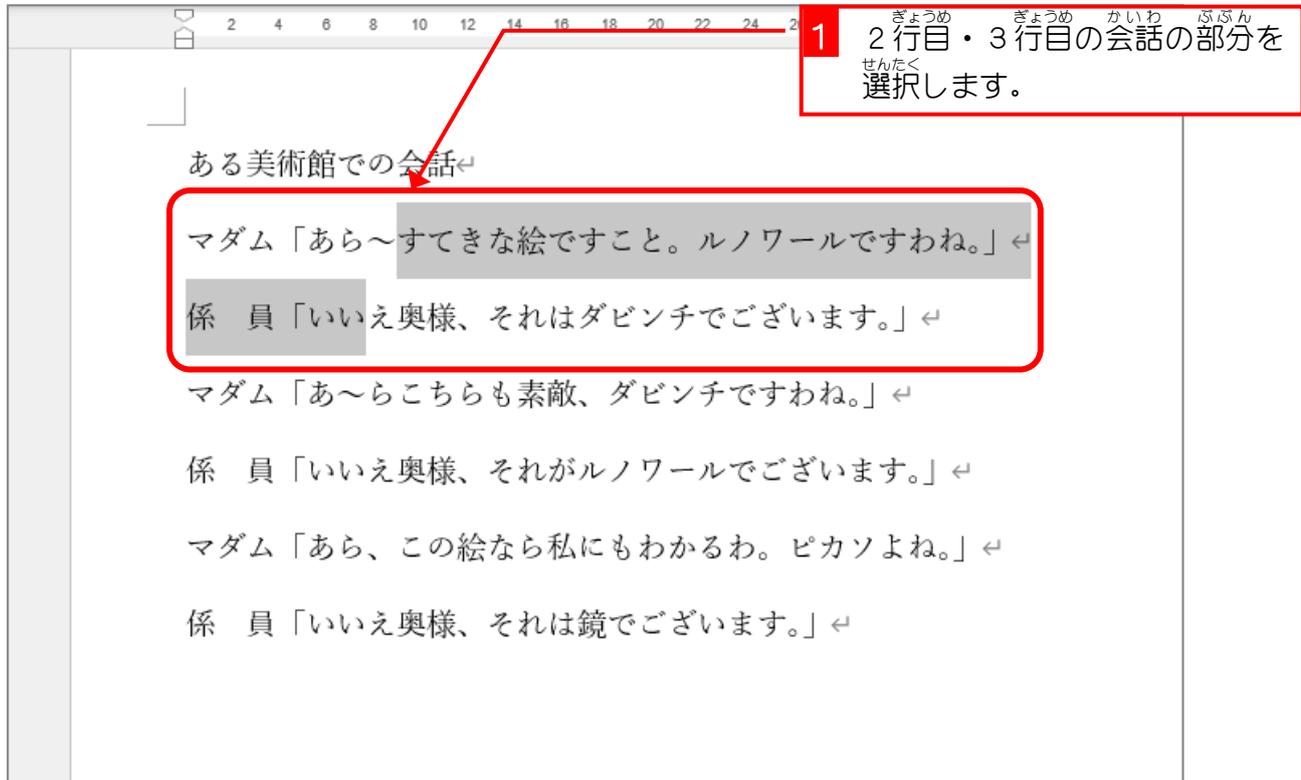
## 練習問題

- 次のように先頭に付けた記号を消しましょう。



## STEP 8. 先頭に違う形の記号を付ける (箇条書き)

### 1. 先頭に違う形の記号を付けましょう



ある美術館での会話

■→マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

■→係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員 <sup>せんとう</sup>先頭に <sup>きごう</sup>記号が <sup>ついか</sup>追加されました。それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

## 練習問題

- 次のように残りの会話の部分に記号を付けましょう。

ある美術館での会話

■→マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

■→係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

◆→マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

◆→係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

✓→マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

✓→係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

## STEP 9. 先頭に通し番号を付ける (段落番号)

各段落の先頭に通し番号を振ることもできます。

### 1. 先頭の記号を番号に変えましょう

ある美術館での会話

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←
- ◆→マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←
- ◆→係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←
- ✓→マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←
- ✓→係 員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

1 2行目・3行目の会話の部分を選択します。

2 「段落番号」をクリックします。

ある美術館での会話

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールで
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます
- ◆→マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- ◆→係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます

ある美術館での会話

1. → マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」 ←

2. → 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」 ←

◆ → マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」 ←

先頭の記号が  
番号に変わりました。

奥様、それがルノワールでございます。」 ←

の絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」 ←

✓ → 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」 ←

## 練習問題

- 次のように残りの会話に番号を振りましょう。

ある美術館での会話

1. → マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」 ←

2. → 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」 ←

3. → マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」 ←

4. → 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」 ←

5. → マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」 ←

6. → 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」 ←